

会 議 録

1 会議名

令和3年度第9回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項(公開)

・柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告

(2) 協議事項(公開)

・自主的審議事項のテーマについて

(3) その他(公開)

3 開催日時

令和3年11月16日(火) 午後6時から午後7時8分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：吉井一寛(会長)、白井一夫(副会長)、薄波清美、貝谷雅子、片桐宏樹、片桐充、小出祥世、武田正教、箕輪明男、蓑輪和彦、吉村正
- ・事務局：柿崎区総合事務所 市川所長、柿村次長、小林次長、武田建設グループ長、池田市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長、熊木地域振興班長、大場主査

8 発言の内容(要旨)

【柿村次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。

- ・岩野秀樹委員、小山慶委員、中村誠委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に白井一夫副会長を指名。
- ・報告事項(1)柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告について、柿崎空き家活かそうプロジェクト蓑輪委員長から報告をお願いする。

【蓑輪委員】

- ・資料 1 により柿崎空き家活かそうプロジェクトの状況について報告

【吉井会長】

- ・何か質問はないか。なければ報告事項について終了する。
- ・次に協議事項、自主的審議事項のテーマについて事務局から説明をおねがいをする。

【熊木班長】

- ・資料 2 により自主的審議事項の検討経過及び状況を説明。

【吉井会長】

- ・自主的審議事項について、意見があったらお願いする。

【小出委員】

- ・柿崎免許センターの跡地利用については、既に関係部署で検討中であり、地域協議会が取り上げて議論する内容ではないのではとのことだが、地域協議会として関わっていてもいいのではないかと思う。

【吉井会長】

- ・その他に意見はないか。
- ・空き家対策について蓑輪委員長は、中間報告をした後もやっていくということではよいか。

【蓑輪委員】

- ・令和 4 年度以降、審議を継続していくのであれば、具体案の中から実施に向

けた審議を行っていけばいいのではないかという意見も出ている。個人的にはやっていってもいいのではないかと思う。

【吉井会長】

- ・今月の25日に次の委員会が予定されているが、その委員会で中間報告という形ではなく、最終報告が出せるかどうかの見通しについて、委員長だけでなくプロジェクトに関わっている委員からの意見を聞きたい。

【蓑輪委員】

- ・プロジェクトが動き出したのは昨年10月であり、実質1年である。ある意味大きなテーマであり、個人的には最終報告という形に持っていくのは難しいと感じている。

【吉井会長】

- ・他の空き家プロジェクトのメンバーの意見はどうか。

【片桐充委員】

- ・空き家のことではなく、会長の進行のニュアンスからすると、柿崎免許センターの跡地利用は審議しないで、空き家プロジェクトを継続審議し、もう一つは保育園の在り方を審議するという方向か。
- ・わたしは柿崎免許センターの跡地利用は、検討している担当課の説明を聞いて、柿崎区地域協議会としての意見を述べていくのがいいのではないかと思う。

【吉井会長】

- ・他の委員の意見はあるか。

【武田委員】

- ・空き家対策は、結論がなかなか出るものではないと思う。1年かけて対策方法を模索し、資料も集まった所であり、これで最終報告とするよりも、できればもう2年間かけて、具現化していくための地域組織等ができてくれる形まで持っていけると達成感があるのではないかと思う。
- ・柿崎免許センターの跡地利用については、あれが欲しい、こうして欲しいだけの要望書を上げるだけになると思う。状況を確認していただければいいと思う。
- ・保育園の問題は前々期から審議している。ある程度やって任期が終わったか

ら終わりましたという形になっている。今回3期目としては、ある程度の方
向性を出さないといけないと思う。

【吉井会長】

- ・他の委員の意見はあるか。

【蓑輪委員】

- ・柿崎免許センターの跡地利用について、委員会として立ち上げて検討する形
もあるが、他の形で柿崎区住民の意見を反映できる形を配慮していただけない
かと希望する。

【吉井会長】

- ・先ほど片桐委員がわたしの考えはどうかと話をされたが、私の考えは片桐委
員が言っているとおりである。
- ・公共交通については目途がついたので、今回で解散してもいいのではないかと
思う。ただし、まちづくり振興会が引き受けてくれたけれども、いつ地域
協議会に意見を求められるか分からないので、委員会としては残しておきた
い。
- ・空き家活かそうプロジェクトについては、中間報告を出していただいて、再
スタートということで来年4月以降、継続して2年間検討していただき、1
年ちょっとくらいの間結論を出していただきたいと会長としては思っ
ている。
- ・保育園の在り方については、継続審議でやらなければならないと思っている。
来年4月からとは言わずもっと早い時期からスタートしてもいいのではない
かと思っている。
- ・委員会としては、空き家活かそうプロジェクトと保育園の2つを自主的審議
事項として4月以降スタートするというで行きたいと思っている。
- ・柿崎免許センターの跡地利用については、今、広域最終処分場の問題が出て
いるので、同じような形で、跡地利用をどうするかということ市から情報
をいただきながら、委員会ではなく地域協議会全体で意見を述べさせていた
だいて市との協議を進めていきたいと私は思っている。
- ・私の今の意見に対して、意見があったら委員の皆様からお聞きしたい。
- ・吉村委員どうか。

【吉村委員】

- ・会長の考えている通りでいいと思う。

【吉井会長】

- ・一人ひとりお聞きします。

【箕輪委員】

- ・方向性としては会長の考えている方向でいいと思う。

【武田委員】

- ・保育園の問題は、来年1月から始めてもいいと思う。

【白井副会長】

- ・空き家対策については、地元の住民の認識を考えると有効な結論を導き出すのはなかなか難しい問題だと思う。

【小出委員】

- ・基本的には会長の考えている方向性でよいと思う。いずれにせよ、広域最終処分場や柿崎免許センターの跡地利用について、私たちもしっかり関わっていけるという方向性を考えていきたい。

【片桐充委員】

- ・会長の言われた方向性でいいと思うが、保育園の在り方の協議に関して、委員をどうするのかという問題があるので、それを決めていただきたい。

【片桐宏樹委員】

- ・私も会長の言われた方向性で良いと思う。

【貝谷委員】

- ・会長の意見に異議はない。保育園の在り方については、早く協議を始めた方がいいと思う。

【薄波委員】

- ・みなさんの意見に異議はない。保育園の在り方については、立ち消えした経緯があるので、委員を選択する時は、これまでの経緯がわかる人を選んだ方がいいと思う。

【吉井会長】

- ・それでは、私が先ほど申し上げた方向で行きたいと思う。委員のメンバーについては、現在所属している委員会を一回リセットして全く新しく委員を選

出したいと思う。

- ・特に保育園の在り方については、前回から引き続きなので、前回に加わっていた方に入っていたきたいと思う。
- ・前回から残っている委員が5名のうち保育園の在り方に入っていたメンバーは、薄波委員、私、白井副会長、片桐充委員の4名であり、この4名は強制的に保育園の在り方のメンバーに加わっていただき、あとの皆さんに希望をとって、空き家活かそうプロジェクトまたは保育園の在り方に入っていたかどうかと思う。
- ・この委員の選出については、今日決めるのではなく、次回に決めたいと思うので、次回までにどちらの委員に加わるかの希望を持って参加していただきたい。
- ・問題となるのが、保育園の在り方について1月からスタートした場合、現在、空き家活かそうプロジェクトのメンバーが2、3か月重複して委員をやることになると思うが、頑張ってください両方やっていただきたい。
- ・来月までにどちらに行きたいか検討して結論を持ってきていただくということではよろしいか。
（「はい」の声）
- ・それでは、地域協議会の自主的審議事項に関する通知票を自治・地域振興課へ提出することとすることで、作成については私と白井副会長の一任とさせていただきます。
- ・以上で協議事項を終わるが、皆さんから何か意見があったらお願いしたい。
- ・よろしいか。
- ・それでは6その他に移る。事務局から説明をお願いします。

【熊木班長】

- ・次第により、(1)第11回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について、(2)第6回地域協議会だより編集委員会の開催について、(3)第10回柿崎区地域協議会の開催についての日程、会場について説明。

【吉井会長】

- ・(4)として情報提供をしたい。頸北地区地域協議会委員の合同研修会を1月25日火曜日に行いたいので予定をお願いします。

- ・今回は柿崎区が当番であり、懇親会も行いたいと考えている。
- ・内容については、テーマを2つあげ、1つは公共交通についてどう考えるか、もう1つは空き家の活用をどうするかについて、みなさんで検討していただき発表していただきたいと考えている。
- ・講演会については前島密記念館の館長から「近代日本の立役者前島密」と題し講演をお願いしたいと考えている。
- ・これから開催に向け準備を進める。
- ・他に何かないか。

【小出委員】

- ・出雲崎の広域最終処分場の見学会の参加者からどのような質問が出たか。また、今後のスケジュールについて聞きたい。

【柿村次長】

- ・生活環境課が見学会に同行しており、その時の報告資料からお答えする。
- ・10月21日、27日の2日間で合計22人の一般住民から参加いただいた。
- ・質問については、まず、臭いの苦情や田んぼに塩害が発生したとの説明に対する再確認が求められ、一時的な事象であったがそれぞれ丁寧に対応してきたとの回答があった。
- ・次に、1日当たりの搬入するダンプの台数についての質問では、1日50台くらい通るとの回答があった。
- ・次に、地域貢献としてはどのようなものがあるかとの質問があった。仮に柿崎区内に設置された場合は、地域の皆様と相談してどの様なことを望んでいるか、どの様な事業に補助金等を充当していったらいいのかなど、地域で話し合いながら、決めていきたいと思いますとのことであった。
- ・それから、自然災害に対しての対応策はどの様になっているかの質問に対しては、中越地震、中越沖地震の2つの大きな地震があったが全く問題は発生しなかったとのことであり、更に、雨に関しては、過去15年に遡って雨量データ等に基づいて設計していることから対応できているとの回答があった。
- ・2点目の今後のスケジュールについて、県は、住民の皆さんの意見を聞くのが大前提であるという考えを示しており、いつまでに決定するということは話しには出ていない。しかしながら、エコパークいずもぎきの残余年数が限ら

れていることから、これに遅れないように進めていきたいとの回答であった。

【吉井会長】

- ・ これからも地域協議会に随時報告をお願いしたい。
- ・ 聞いていて心配だったのが、過去 15 年間の雨量データに基づいて設計とのことだが、昨今の集中豪雨をみると 15 年間のデータの倍くらいをみてもらわないといけないのかなと思う。
- ・ 柿崎区にどれだけのお金を置いていただけるかが非常に重要であり、地域協議会で声を上げないと何も残らないのではないかと心配であり、声をあげるのは地域協議会である。声を上げていきましょう。

【吉井会長】

- ・ 他になければこれで終了する。

【白井副会長】

- ・ 地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 8 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。